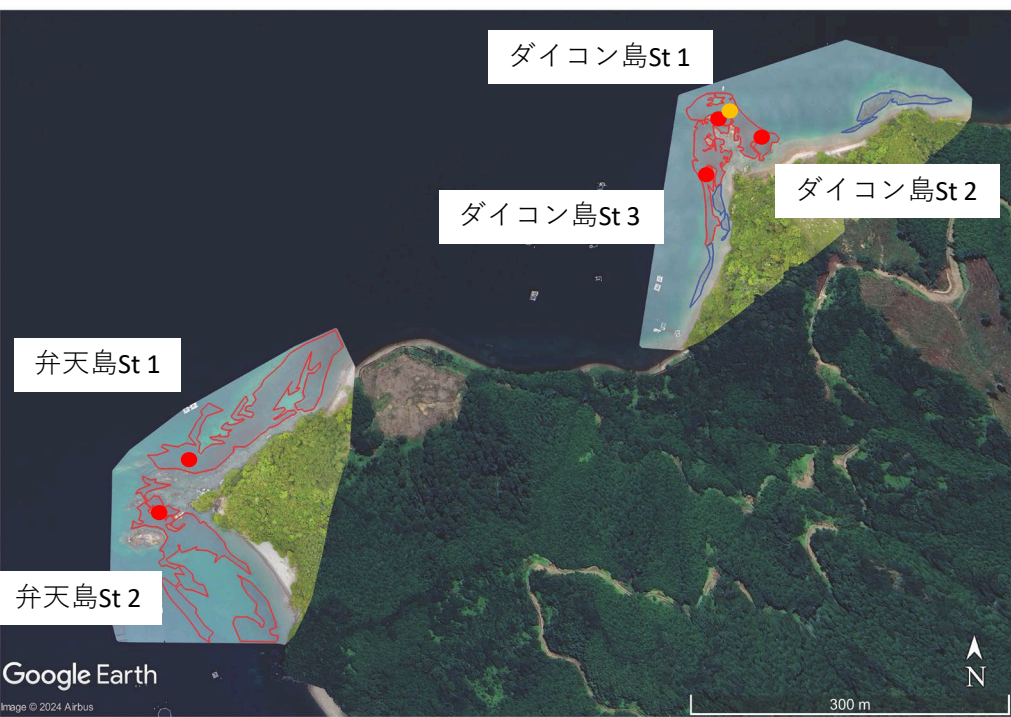


2024年度ブルーカーボン量（面積）
引本浦

ドローンによる空中写真撮影（2024年4月26日）
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け
藻場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定

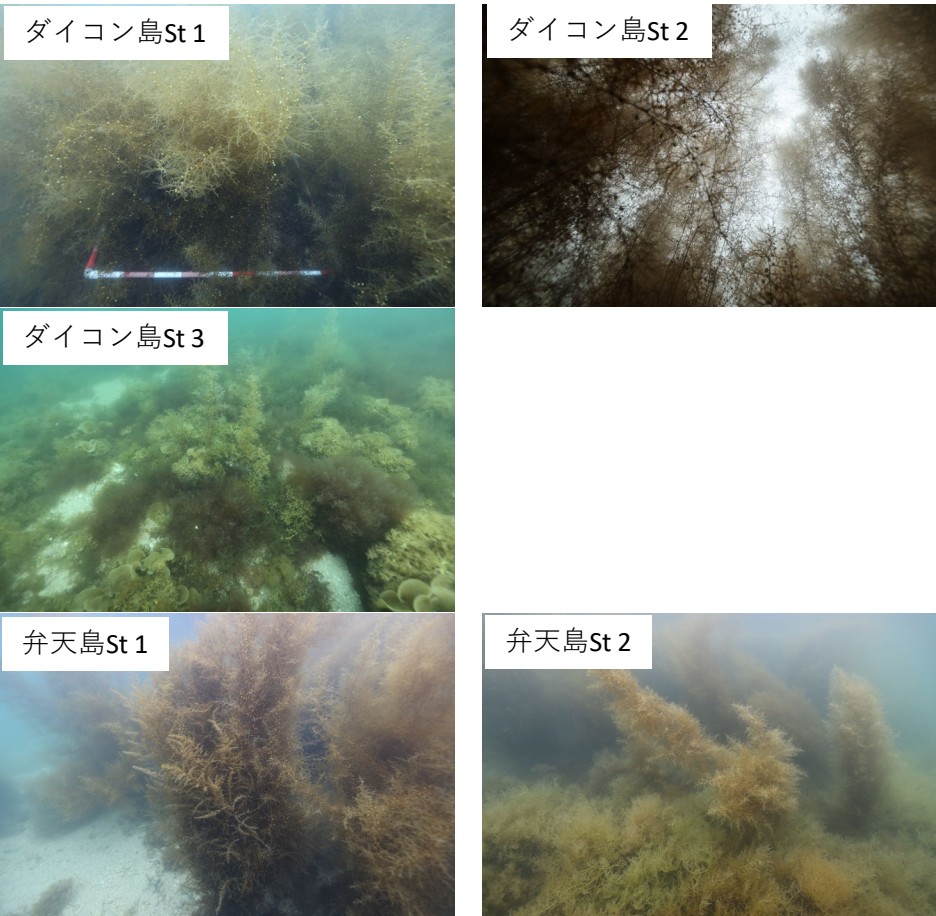


凡例		面積(ha)
○	マメタワラ（被度95%）	2.2028
○	マメタワラ（被度70%）	0.2128

- モニタリングポイント
- ツボ狩りポイント

【面積に対する確実性評価について】
対象面積内は起伏が激しく、水深1m-5mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

潜水目視調査による生育海藻の把握、
コドラート調査によるの被度の把握、
生育海藻の湿重量計測（2024年5月15日）



生育海藻：マメタワラを優占種としたガラモ場
被度：95%または70.0%（面積算定に反映）
1m2当たりの湿重量 6.15kg

対象面積（実勢面積）
= 面積合計 × 被度
= 2.2028 × 95%
= 2.09266 ha

対象面積（実勢面積）
= 面積合計 × 被度
= 0.2128 × 70%
= 0.14896 ha
合計 2.09266+0.14896 = 2.241620 ha